

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
定時株主総会の基準日 3月31日
期末配当の基準日 3月31日(なお、中間配当を実施する時の基準日は9月30日)
上場取引所 名古屋証券取引所セントレックス市場
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

会計監査人 霞が関監査法人

■住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますので、ご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

IR情報は当社のホームページでも
ご覧いただけます。
ぜひ一度アクセスしてください。
<http://www.commseed.net/>



第19期事業活動のご報告 平成21年4月1日～平成22年3月31日

コムシード株式会社

コムシード株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号 NBF小川町ビルディング5F
TEL:03-5217-5811(代) FAX:03-5217-5812



新たな エンターテインメント・ コミュニティの 創造

基本方針

- 高品質なコンテンツへのこだわり
- コミュニケーション機会の創造
- ユーザー本位のサービス徹底

事業展開

中核であるモバイル事業の強化と
周辺領域をさらに拡充する。

目標

- 情報サイト ▶ 新規サイトの企画制作・配信
- メーカー公式サイト ▶ 既存サイトの充実と拡大
- コンテンツ ▶ 自社モバイルコンテンツの多面的な展開

To Our Shareholders

ニッチ市場の特定ファンを対象に、「より深く」、「より面白く」、「より使える」コミュニケーションメディアを提供することで、持続的な成長とさらなる安定収益体制を確立します。



代表取締役社長 坂入 万弘

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第19期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)事業活動のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、当期におきましては、持続的な成長とさらなる企業収益力の基盤強化を図るため、「パチンコ・パチスロ」に続く新たなサービスを投入いたしました。

例えば、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の映像制作を行う株式会社エナジオが主催する「宇宙戦艦ヤマト オフィシャルコミュニティ ヤマトクルー モバイル」、PCゲームソフト開発を行う株式会社ミノリの人気恋愛ゲーム「eden*」を各社と共同で企画・制作し、携帯公式サイトとして配信いたしました。

この結果、先行投資的な費用は増加いたしました。第18期に引き続き黒字となり、将来への布石を打つことができたものと考えております。また、上場しております名古屋証券取引

所より「不適当な合併等に係る猶予期間入り銘柄」の指定を受けておりましたが、本年3月12日付で解除されました。

今後は、持続的な成長とさらなる安定収益体制の確立に向け、当社の強みである携帯コンテンツの技術力を活かし、経営理念である「新たなエンターテインメント・コミュニティの創造」のもとに、趣味性に富んだエンターテインメントコンテンツを媒介とした、新たなコミュニケーションの場、機会を提供してまいります。

その第一歩として、本年5月よりTwitterによるコミュニケーションサイト「Pachitter(パチッター)」を開始しておりますが、今後もアンドロイド携帯など、新しい技術やプラットフォームに向けたソーシャルアプリのサービス提供など、時代の変化にあわせたコンテンツを随時投入し、ニッチ市場における特定ジャンルのファンの方々のために、「より深く」、「より面白く」、「より使える」コミュニケーションメディアを提供してまいります。

皆様におかれましては、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

R

Review of Operations

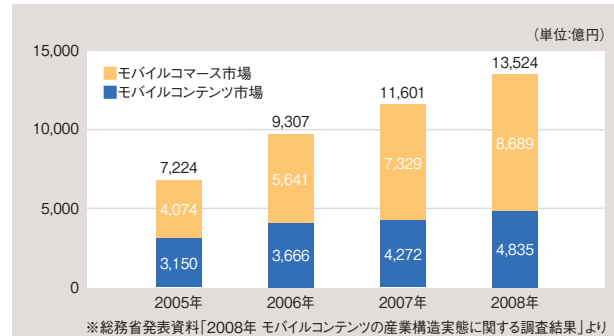
モバイル事業

当社の主力であるモバイル事業は、パチンコ・パチスロをはじめとする特定ジャンルのファンに対し、着メロやアプリなどを配信する携帯公式サイトを運営しております。当事業が属する市場では、第三代携帯電話の高速データ通信が可能な端末の台数が1億930万件（前期比9.4%増）と増加傾向にあり、端末の高速・高機能化、通信料金体系の変化等を背景に、引き続き堅調に推移いたしました。

また、パチンコ業界を取り巻く環境につきましては、1円パチンコに代表される低貸玉営業の普及に伴い、長期にわたり減少傾向であった遊技人口に回復の兆しが見られたものの、パチンコ・パチスロ店舗数は依然減少傾向にあり、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、主には次の施策に注力してまいりました。

■モバイルコンテンツ市場規模の推移



- ①当社オリジナルサイトのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、人気のパチンコアプリや電子書籍の各種ダウンロードコンテンツをはじめ、パチンコ・パチスロの機種情報を充実させるなど、平成21年12月にリニューアルオープンいたしました。
- ②メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、人気の携帯アプリの早期配信、オリジナル商品の投入、各種イベントの開催など、引き続きサービスの拡充に取り組みました。
- ③パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス(有料店舗情報サービス)のラインナップの拡充、全国店舗への営業体制の強化を行うとともに、株式会社パック・エックスとの資本提携のもと、共同でアルバイト情報サイト「パチバイ」の公式サイト化を行い、平成21年11月よりサービスを開始いたしました。
- ④新規サイトとして、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の映像制作を行う株式会社エナジオと共同で「宇宙戦艦ヤマト オフィシャルコミュニティ ヤマトクルー モバイル」の携帯公式サイトを企画・制作し、平成21年12月にオープンいたしました。また、PCゲームソフト開発を行う株式会社ミノリの人気恋愛ゲーム「eden*」の携帯公式サイトを同社と共同で企画・制作し、平成22年1月よりオープンいたしました。

以上の結果、売上高1,223百万円、営業利益40百万円となりました。

今後の課題と事業展開

当社は、モバイル事業を核として、特定のコアなファン層を対象として、ユーザー本位のサービスを追求していくとともに、モバイル技術の進化ならびにスマートフォンに見られるプラットフォームの多様化にあわせた高品質なサービスの提供を目指しております。そのために、主には以下の施策を講じ、事業展開を行ってまいります。

- 既存のパチンコ・パチスロ関連サイトのさらなる拡充を図ります。
- 既存コンテンツをコンシューマーゲームなどへ多面的に展開します。

- SNSサイトへソーシャルアプリを提供します。
- アンドロイド携帯などに対応するため、技術開発力の強化に注力します。

さらに、当社の得意とするエンターテインメント・コミュニティ領域における事業展開の拡充を図るため、当社の保有する企画開発力を活かしつつ、資本業務提携やM&Aも視野に入れた事業展開を推進してまいります。

これらの施策により、持続的な成長とさらなる安定収益体制を確保しつつ、中長期的には売上高経常利益率10%の達成を目標とします。なお、コンテンツの企画開発・著作権取得、資本業務提携、M&Aの業容拡大につきましては、資金の状況や予測を勘案しながら、キャッシュ・フローを重視した事業展開を行ってまいります。

■平成23年3月期の事業展開



Topics

06.18●パチンコ倶楽部
大容量(メガ)アプリ パチンコ
「CRシャカRUSH」配信開始



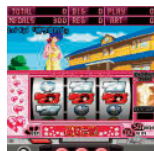
©マルホン工業

07.15●キタック
ジャグラーワールド
iモード向けに、ス
ロットアプリ「アイ
ムジャグラーSP」配
信開始



©KITA DENSHI

09.28●パーラーオリンピア
iモード向けに、新スロットア
プリ「めぞん一刻2」配信開始

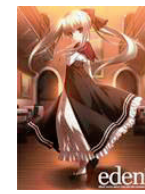


©OLYMPIA
©高橋留美子/小学館



©KITA DENSHI

12.03●キタックジャグラーワールド
iモード向けに、スロットアプリ「サイ
サイ」配信開始

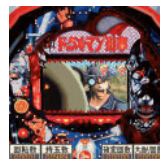


©minori/CommSeed

03.01●ヒットメーカー「minori」
の大人気PC恋愛ゲーム「eden*」
携帯公式サイト(Yahoo!ケータイ)
配信開始



05.27●パーラーオリンピア
iモード向けに、新パチンコア
プリ「ドールマン刑事」配信
開始



©OLYMPIA
©武論尊、平松伸二/集英社

06.22●キタック
ジャグラーワールド
docomoユーザー向け
iチャンネルサービス
「キタックチャンネル」
を開設



©KITA DENSHI

08.24●パチンコ倶楽部
NTTドコモの新サービス「マイ
ニュース・マイリンク」提供開始



09.28●パーラーオリンピア
iモード向けに、新パチンコア
プリ「CR石原裕次郎」配信開始

©OLYMPIA ©HEIWA ©石原プロモーション
©テレビ朝日 ©TBS ©マガジンハウス ©原田
つとむ ©テイクエンタテインメント ©日活



©豊丸産業

10.29●パチンコ倶楽部
iモード向けにレトロパチ
ンコアプリ第二弾「CRコ
マコマ倶楽部3」配信開始

©Nishizaki/ENAGIO
©2009ヤマトスタジオ/
「宇宙戦艦ヤマト・復活篇」
製作委員会

12.07●「宇宙戦艦ヤマト オフィシャル
コミュニティ ヤマトクルー モバイル」
携帯公式サイト(iモード)配信開始



©KITA DENSHI

03.25●キタックジャグラーワールド
iモード向けに、スロットアプリ「ハッ
ピージャグラーV」先行配信開始

トピックス
01

パチンコ・パチスロ総合情報サイト 「パチンコ倶楽部」リニューアルオープン

従来の情報に加え、「ブログ記事」と「解
析・攻略情報」の新しい情報を追加しまし
た。
「ブログ記事」では、ユーザーのブログ
記事から、機種に関連した情報を検索し、

パチンコ倶楽部にてその最新記事を紹介
しています。また、「解析・攻略情報」では
「wikire(ウィキレ)」の機種情報とリンク
しており、ユーザーが自由に編集できるな
ど、ユーザー参加型となっています。



トピックス
02

新規サイトを立ち上げ、新たな収益の柱として育成中

新規サイトとして、「宇宙戦艦ヤマトオ
フィシャル コミュニティ ヤマトクルー
モバイル」と大人気PC恋愛ゲーム「eden*」
の携帯公式サイトを配信開始。

「パチンコ・パチスロ」カテゴリーに続く
新たな収益の柱として育成中です。

©Nishizaki/ENAGIO
©2009ヤマトスタジオ/
「宇宙戦艦ヤマト・復活篇」製作委員会



©minori/CommSeed

F inancial Statements

貸借対照表 (単位：千円)

科目	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	646,839	733,554
固定資産	171,983	123,231
有形固定資産	19,883	31,206
無形固定資産	22,336	41,655
投資その他の資産	129,763	50,369
資産合計	818,823	856,785
負債の部		
流動負債	190,736	253,588
固定負債	41,673	51,669
負債合計	232,409	305,257
純資産の部		
株主資本	586,413	551,528
資本金	568,883	663,000
資本剰余金	—	648,500
利益剰余金	34,884	△742,616
自己株式	△17,355	△17,355
純資産合計	586,413	551,528
負債純資産合計	818,823	856,785

▶ Point 総資産について

当期末における総資産は818,823千円となり、37,962千円減少いたしました。このうち流動資産は86,715千円減少しました。これは、主に繰延税金資産の増加があったものの、現金及び預金の減少と売掛金の減少によるものです。また、固定資産は48,752千円増加しました。これは、主に投資有価証券の増加と長期前払費用の増加によるものです。

▶ Point 負債について

当期末における負債は232,409千円となり、72,847千円減少いたしました。このうち流動負債は62,851千円減少しました。これは、主に買掛金の減少と未払金の減少によるものです。また、固定負債は49,995千円減少しました。これは、主にリース債務の減少によるものです。

▶ Point 純資産について

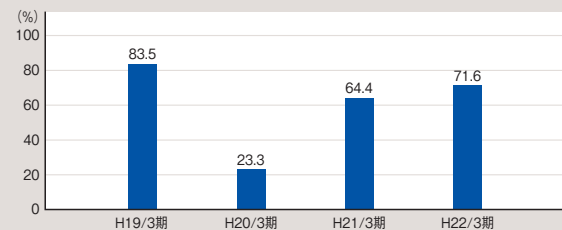
当期末における純資産は586,413千円となり、34,884千円増加しました。これは、利益剰余金の増加によるものです。

財務トピックス

●自己資本比率が向上しました

当期末と前期末の貸借対照表を比較しますと、総資産の減少額よりも負債の減少額が大きく、また、当期純利益による純資産の増加により、自己資本比率はさらに向上しました。

自己資本比率の推移



損益計算書 (単位：千円)

科目	当期 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	1,223,227	1,247,091
売上原価	782,682	743,762
売上総利益	440,545	503,329
販売費及び一般管理費	399,552	452,028
営業利益	40,992	51,300
営業外収益	474	1,331
営業外費用	887	1,470
経常利益	40,579	51,161
特別利益	2,492	236,700
特別損失	32,390	7,234
税引前当期純利益	10,681	280,627
法人税等合計	△24,203	950
当期純利益	34,884	279,677

▶ Point 法人税等合計について

税金費用は、△24,203千円となりました。これは、収益性が安定し繰延税金資産の回収可能性が高まったため、繰延税金資産24,493千円を計上したことによるものです。

財務トピックス

●各段階利益で黒字を継続しています

当期は積極的に新規サービスを投入したため、先行投資的な費用が増加しましたが、既存事業の収益が安定していることに加え、引き続き経費管理を徹底したことにより、営業利益・経常利益・純利益とも黒字となり、収益の安定化が進行しました。

キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

科目	当期 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,360	79,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,132	34,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,657	△513,761
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△51,429	△400,436
現金及び現金同等物の期首残高	366,996	767,433
現金及び現金同等物の期末残高	315,567	366,996

※前期につきましては、参考のため連結の数値を掲載しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加50,360千円は、主に減価償却費51,162千円、売上債権の減少50,237千円による増加があったものの、仕入債務の減少43,791千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少89,132千円は、主に無形固定資産の取得による支出23,882千円、投資有価証券の取得による支出28,032千円、長期前払費用の取得による支出36,764千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少12,657千円は、リース債務の返済による支出によるものです。

株主資本等変動計算書 当期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本								純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式		株主資本 合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成21年3月31日 残高	663,000	648,500	—	648,500	892	△743,509	△742,616	△17,355	551,528	551,528
事業年度中の変動額										
資本金から剰余金へ振替	△94,116		94,116	94,116					—	—
準備金から剰余金へ振替		△648,500	648,500	—					—	—
利益準備金の取崩					△892	892	—		—	—
欠損補填			△742,616	△742,616		742,616	742,616		—	—
当期純利益						34,884	34,884		34,884	34,884
事業年度中の変動額合計	△94,116	△648,500	—	△648,500	△892	778,394	777,501	—	34,884	34,884
平成22年3月31日 残高	568,883	—	—	—	—	34,884	34,884	△17,355	586,413	586,413

Point 事業年度中の変動額について

当期において、欠損補填を目的に資本金の額663,000千円のうち94,116千円と資本準備金の額648,500千円の全額を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、利益準備金の額892千円の全額を減少させ繰越利益剰余金に振替えました。さらに、振替え後のその他資本剰余金の額742,616千円の全額を繰越利益剰余金に振替えております。

Point 平成22年3月31日残高について

当期において当期純利益を計上するとともに、また繰越損失も資本金及び準備金の減少により解消しましたが、さらなる財務体質の強化ならびに将来の事業展開に対応するために必要となる資金などを勘案しますと、安定的な配当を実施するための原資は、当期末において未だ十分ではなく、早期に内部留保の充実化に努めていく所存であります。

>> 会社概要（平成22年3月31日現在）

商号 コムシード株式会社
 所在地 〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町一丁目3番1号
 NBF小川町ビルディング5F
 設立 平成3年12月13日（平成14年8月5日現商号に変更）
 資本金 5億6,888万円
 従業員数 37人
 役員
（平成22年6月29日現在）
 代表取締役社長 坂入 万弘
 専務取締役CTO 羽成 正己
 取締役 金 正律
 取締役 前島 荘生
 取締役 趙 容峻
 監査役 飯田 三郎
 監査役 島根 伸治
 監査役 南 敦
 事業内容 ● コンピューターネットワークを利用した情報処理サービスならびに情報提供サービス
 ● コンピューターソフトウェアの開発・制作・仕入・販売・輸出入
 取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行、三菱東京UFJ銀行

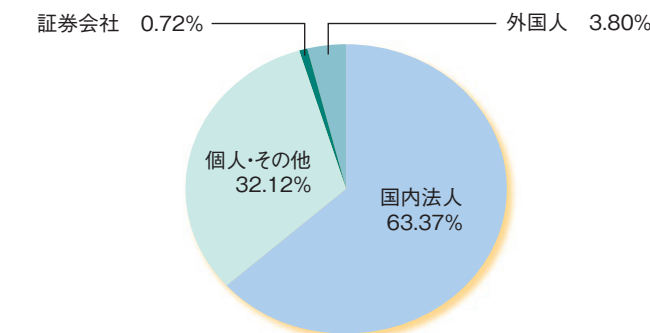
>> 株式の状況（平成22年3月31日現在）

発行可能株式総数 120,000株
 発行済株式の総数 37,500株
 株主数 1,002名

>> 大株主

株主名	所有株式数 (株)	出資比率 (%)
株式会社サイカン	20,572	55.10
株式会社パック・エックス	1,580	4.23
EFG BANK AG	1,414	3.79
田中泰博	1,118	2.99
株式会社プライムワン	755	2.02

>> 株式の所有者別状況



（注）小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。